



中国では短裙(たんくん)ミャオ族と呼ばれるモン族

祖国なき民族



自分の国を持たない民族が世界にはたくさんある。祖国なき最大の民族といわれるクルド人は二千五百万人とされ、トルコ、イラク、イランに住み、独立を求める動きは常につきまわってきた。

北京オリンピックの前に暴動が起きたチベットも同様で、中国政府はチベットを五十六の少数民族の一つとして独立を認めない。こんな大きな民族ではないが、中国、インドをはじめアジアにはたくさん少数民族がいます。

自分が日本に住んでいるのは当然で、自分の祖国がない事態など考えたこともない者に祖国なき民族の苦しみは理解できないことが多い。流浪の民、山岳少数民族モンのは故郷は中国で、揚子江流域に住んでいたが、漢民族に追われて南西部の貴州省、湖南省、雲南省、四川省などに住むようになった。

さらに一部はそこを追われ、ベトナム、ラオス、タイに移り住んだ。しかし第二次世界大戦後のインドシナ戦

争でもめた。結局、十種類の言語を公用語とすることで一段落したが、インド国内にどんな言語が存在するか調べたら、何と千六百五十二もあることがわかったという。

その時に聞いた話に「揚子江流域を追われた時、大部分は中国西部に移動したが、一部は東に逃げ、海を渡って日本に着いた。だから日本人とモン族はよく似ている」と。

真偽のほどは知らないが、日本人とそっくりな人も多く、赤ちゃんには蒙古斑が出る。正月には餅をつく習慣など似ていることが多いのも事実である。

二千年以上の歴史を持つモン族は居住地域によって民族衣装なども異なる。日本人との違い以上に、モン族同士でも異なる民族ではないかと思える人もいます。



短裙ミャオと同じ貴州省に住むモン族

訪ねたいとも思っている。モン族をはじめ自分の国がない民族の人数が尊重される地球づくりが必要だが、ガザをはじめ各地の紛争の原因は民族問題が多い。みんな地球市民という考え方を、生き方をしたいものだ。(元山口放送取締役ラジオリポーター)